

令和4年度 第3回 評議会 資料②

令和5年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算  
の策定に向けた意見聴取について

令和4年度 支部保険者機能強化予算にかかる取組について

令和5年度戦略的保険者機能強化予算にかかる支部の課題について

令和5年度支部医療費適正化等予算整理表（案）

令和5年度保健事業予算整理表（案）



# 令和4年度 支部保険者機能強化予算にかかる 取組について

全国健康保険協会山梨支部

## ❖ 令和4年度 取組事業一覧(主な取組について)

1. 医療費適正化予算			2. 保健事業予算		
医療費適正化対策経費		ページ	集団健診・健診推進経費・健診受診勧奨等経費		ページ
1-1	小児に対するジェネリック医薬品軽減額通知の送付	3p	3-1	オプション測定付大型商業施設健診(被扶養者)	7p
1-2	薬剤師会と連携した医療費適正化対策(お薬手帳カバーの作成)	3p	3-2	オプション付特定健診の実施(被扶養者)	8p
1-3	一般名処方拡大へ向けた検索ツールの作成・配布	4p	3-3	生活習慣病予防健診及び特定健診受診勧奨用パンフレット作成	8p
広報・意見発信経費		ページ	3-4	次年度40歳に到達する被扶養者への勧奨事業	9p
2-1	未就学児向けジェネリック希望カードの配布	4p	保健指導推進経費・保健指導利用勧奨経費		ページ
2-2	新生児保護者への医療費適正化対策(育児誌の送付)	5p	3-5	健診結果に同封する個人情報共同利用チラシ作成	9p
2-3	地方自治体等と連携した医療費適正化対策	5p	重症化予防事業経費		ページ
2-4	メディア媒体を利用した医療費適正化対策(新聞・YouTube)	6p	3-6	未治療者受診勧奨	10p
2-5	公共交通機関や公共施設を利用した医療費適正化対策	6p	3-7	重症化予防対策	10p
2-6	経済団体等と連携した医療費適正化対策	7p	コラボヘルス事業経費		ページ
			3-8	健康宣言新規事業所の拡大に向けた電話勧奨	11p
			3-9	エントリー事業所への健康情報誌配布事業	11p
			3-10	健康づくり講座(外部委託)	12p
			その他の経費		ページ
			3-11	事業所に対する生活習慣病予防に向けた啓発事業	12p
			3-12	山梨県民歯科保健の集いにおける糖尿病と歯周病についての周知広報(ブース出展)	13p
			3-13	糖尿病予備軍域者への運動勧奨	13p
			3-14	適用事業所を通じた加入者への健康支援事業	14p

## 取組No. 1-1 小児に対するジェネリック医薬品軽減額通知の送付

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…医療費適正化対策経費 ◆ 区分…企画部門

実施内容	山梨支部は子どものジェネリック医薬品使用割合が低く、主要因として、県内全自治体の子ども医療費助成に伴う窓口負担が無料のため安価なジェネリックが選択されにくいと想定していることから、被保険者に対し子どもの医薬品に対する軽減額を通知し、健康保険料や税金の上昇を抑えるためにジェネリックを使用するよう行動変容を促す。		
実施時期	令和4年8月頃 → 変更	予算額	660,000円
実施状況	ジェネリックの供給不安のため昨年と同様に医療費適正化の啓発チラシを発送予定。(12月中旬発送予定)		

## 取組No. 1-2 薬剤師会と連携した医療費適正化対策（お薬手帳カバーの作成）

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…医療費適正化対策経費 ◆ 区分…企画部門

実施内容	山梨県薬剤師会と連携して、お薬手帳カバーを作成し、会員薬局で協会加入者に配布する等によりお薬手帳の活用を促し、「薬のもらいすぎ」の抑制に取り組む。 また、カバー裏面に「ジェネリック医薬品の積極的な活用」の旨のメッセージを記載、カバーに「ジェネリック医薬品Q&A」冊子をセットすることで、ジェネリック医薬品の使用促進にもつなげていく。		
実施時期	令和5年1月～3月	予算額	605,000円
実施状況	3月末配布予定で計画中。		

## 取組No. 1-3 一般名処方拡大に向けた検索ツールの作成・配布

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…医療費適正化対策経費 ◆ 区分…企画部門

実施内容	一般名処方の拡大に向けて、県が作成した「汎用後発医薬品リスト」を活用したツールの開発、および医療機関・薬局へのツール配布を通じて一般名処方箋の拡大とジェネリック医薬品使用割合の向上を図る。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	165,000円
実施状況	ジェネリック医薬品の供給が不安定な状況が続いていることから今年度は実施を見送り。		

## 取組No. 2-1 未就学児向けジェネリック希望カードの配布

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…広報・意見発信経費 ◆ 区分…その他の広報

実施内容	ジェネリック医薬品使用促進における未就学児向けの対策として、ジェネリック医薬品希望カード(富士の国やまなし観光キャラバン隊長「武田菱丸」の塗り絵付き)を作成し、保育園児への配布を行う。園児が受診の際、幼児医療の助成証明とあわせて当カードを提示いただく。併せて、保護者に医療費負担の仕組みとジェネリック医薬品についてのチラシを配布し、医療費適正化への理解を深めていただくものとする。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	159,500円
実施状況	・10市町を通し、各園にジェネリック医薬品希望カードの塗り絵依頼を行った。塗り絵されたカードが協会に返却され次第ラミネート加工をし、「保護者宛て医療費負担の仕組みとジェネリック医薬品にかかるチラシ」と併せ市町を通し園へ送付予定。		

## 取組No. 2-2 新生児保護者への医療費適正化対策（育児誌の送付）

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…広報・意見発信経費 ◆ 区分…その他の広報

実施内容	新生児の保護者（被保険者）に対して、育児に加え、救急医療、医療費負担の仕組み、適正な受診等を掲載した育児誌等を配布し、育児に役立てていただくとともに、コンビニ受診の抑制等、医療費適正化にもつなげていく。育児誌の作成および発送については、外部へ委託する。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	992,200円
実施状況	令和4年4月～令和4年9月で対象者942名に発送。		

## 取組No. 2-3 地方自治体等と連携した医療費適正化対策

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…広報・意見発信経費 ◆ 区分…その他の広報

実施内容	本県は子どもの医療費が全国より高い傾向にあり、県内全自治体の子ども医療費助成に伴う窓口負担の無料化が主な要因のひとつと考えられ、子どものジェネリック医薬品の使用割合が全国と比べ低水準であることに関係している。以上を踏まえ、小中学校から保護者向けに、子ども医療費負担の仕組み等を説明した広報物を配布することで、各家庭の医療費適正化につなげていく。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	726,000円
実施状況	12月発送予定で計画中。		

## 取組No. 2-4 メディア媒体を利用した医療費適正化対策（新聞・YouTube）

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…広報・意見発信経費 ◆ 区分…その他の広報

実施内容	<p>当支部のジェネリック医薬品使用割合は近年割合・順位ともに向上している。一方で、全国平均をまだ下回っている状況であり、特に子どもの割合が低いため、令和3年度はこれまでの新聞広告に加え、YouTubeによる動画配信を行った。令和4年度も引き続き、子どもがいる若い世代へ向けYouTubeでの動画配信および新聞広告も継続実施する（県内における地元新聞購読者は一定数おり、その影響は少なからず大きい）。また、Ge動画配信に併せて支部のYouTubeチャンネルを開設したことから、4年度は別テーマの動画も作成し、第2弾以降のコンテンツとして配信する（本部で作成するコンテンツを踏まえて検討する）。</p>		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	2,277,000円
実施状況	<p>インセンティブの順位の低い特定保健指導の周知のための動画を作成中。11月～12月にYouTube、Tverのインストリーム広告、12月下旬にイオンモール甲府昭和店、甲府駅前のビジョンで放映予定。</p>		

## 取組No. 2-5 公共交通機関や公共施設を利用した医療費適正化対策

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…広報・意見発信経費 ◆ 区分…その他の広報

実施内容	<p>ジェネリック医薬品使用割合の低い地域における、路線バス後部への看板、バス横窓へのステッカーを設置することで自家用車やバス車内からみていただける広報を実施するもの。また、利用度の高い路線のバス内アナウンス広告も活用して広報する。</p>		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	422,400円
実施状況	<p>路線バスへ看板及びステッカーを設置し、広報を実施中。（令和4年4月～令和5年3月まで）</p>		



## 取組No. 2-6 経済団体等と連携した医療費適正化対策

◆ 予算区分…医療費適正化等予算 ◆ 分野…広報・意見発信経費 ◆ 区分…その他の広報

実施内容	関係団体と連携し、各団体の会報誌に支部作成のチラシ（インセンティブ制度、健康保険委員、健康宣言、健康保険制度等）を封入いただき広報を行うもの。適用事業所への広報機会を増やす一方、個別に郵送するよりもコストを大幅におさえられる。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	471,900円
実施状況	12月～1月にかけての会報誌に折込予定で計画中。		

## 取組No. 3-1 オプション測定付大型商業施設健診（被扶養者）

◆ 予算区分…保健事業予算 ◆ 分野…健診経費 ◆ 区分…集団健診経費

実施内容	山梨支部の令和3年度特定健診実施率は、被保険者の77.2%に比べ被扶養者は39.6%と低く取り組みを強化する必要がある。被扶養者の特定健診を簡易測定（血管年齢測定等）をオプションとして実施するにあたり主な対象者の生活動線を考慮し、県内の大型商業施設等を利用し、健診を受けやすい機会を設けることで受診率の向上を図る。		
実施時期	令和5年2月～令和5年3月	予算額	3,671,050円
実施状況	大型商業施設を利用し、オプション測定付特定健診を、令和5年2月9日～13日、24日～28日及び3月24日に実施予定。健診実施機関決定。受診勧奨案内チラシ等の印刷および封入封緘委託業務について公告中。		

## 取組No. 3-2 オプション付特定健診の実施(被扶養者)

◆ 予算区分…保健事業予算 ◆ 分野…健診経費 ◆ 区分…集団健診経費

実施内容	山梨支部の令和3年度特定健診実施率は、被保険者の77.2%に比べ被扶養者は.39.6%と低く取り組みを強化する必要がある。被扶養者のオプション付き特定健診を健診機関に委託し実施することで、健診の実施機会を増やし受診率の向上を図る。		
実施時期	令和5年3月	予算額	110,000円
実施状況	昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により、健診機関がオプションとした温泉、温泉プールの使用を中止しているため、今年度の実施について調整中。今後の状況次第で事業を中止とし、次年度の実施について事業を見直し予定。		

## 取組No. 3-3 生活習慣病予防健診及び特定健診受診勧奨用パンフレット作成

◆ 予算区分…保健事業予算 ◆ 分野…健診経費 ◆ 区分…健診受診勧奨等経費

実施内容	本部作成の健診パンフレットを活用し、さらに併せて支部作成のチラシを送付することで健診に関する情報を分かりやすく伝え、健診受診者の増加を目的として実施する。また、被扶養者の特定健診の受診率引き上げを目指し、市町や健診機関の集団検診について支部からも受診勧奨を行う。		
実施時期	令和4年12月から	予算額	3,198,800円
実施状況	封入封緘作業委託業務について公告中。		

## 取組No. 3-4 次年度40歳に到達する被扶養者への勧奨事業

◆ 予算区分…保健事業予算 ◆ 分野…健診経費 ◆ 区分…健診受診勧奨等経費

実施内容	次年度40歳に到達する被扶養者に特定健診に関する啓発パンフレットを送付する。		
実施時期	令和4年12月～令和5年1月	予算額	110,000円
実施状況	送付するパンフレットの決定(11月中旬予定)		

## 取組No. 3-5 健診結果に同封する個人情報共同利用チラシ作成

◆ 予算区分…保健事業予算 ◆ 分野…保健指導経費 ◆ 区分…保健指導利用勧奨経費

実施内容	健診結果等に個人情報共同利用についてのチラシを同封し、申出の無い特定保健指導対象者の名簿を事業所へ送付する。また、名簿送付の可否を事業所あてに健診案内時にチラシを同封する。		
実施時期	令和4年12月から	予算額	385,000円
実施状況	今後、令和5年度健診案内等に同封する保健指導情報の共同利用に関する周知チラシの変更箇所を確認し、同封に向けた準備を行う予定。		

## 取組No. 3-6 未治療者受診勧奨

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…重症化予防事業経費

◆ 区分…未受診者受診勧奨

実施内容	生活習慣病予防健診の血圧、血糖検査の結果、要治療と判定されながら医療機関を受診していない者へ受診勧奨を実施する。		
実施時期	令和4年12月～令和5年1月	予算額	8,800,000円
実施状況	受診勧奨対象者に対し、外部委託による電話勧奨を実施。二次勧奨対象者で電話がつかない方へは文書勧奨を実施。業務開始までの準備に時間がかかり開始が遅れたが、その後は計画どおり実施できている。しかし、実績が伸び悩んでおり、本人に直接電話で勧奨する方法など実施方法の検討が必要と考える。		

## 取組No. 3-7 重症化予防対策

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…重症化予防事業経費

◆ 区分…重症化予防対策経費

実施内容	生活習慣病予防健診結果において、空腹時血糖が126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上で尿蛋白が「+」判定以上、糖尿病受診歴がある被保険者へ「かかりつけ医」と連携した糖尿病性腎症保健指導を実施する。		
実施時期	令和4年9月対象者に通知発送	予算額	19,250円
実施状況	県医師会に訪問し、直接事業協力の依頼をした上で、地区医師会に協力依頼通知を送付。対象者本人の参加同意書並びに医師指示書の提出があった対象者に対し、6か月を目安に保健師及び管理栄養士による保健指導を行っていく予定。(3名の対象者から保健指導の希望あり)		

## 取組No. 3-8 健康宣言新規事業所の拡大に向けた電話勧奨

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…コラボヘルス事業経費

◆ 区分…コラボヘルス事業

実施内容	事業所選定のうえ、健康宣言勧奨用資料の送付後、電話勧奨を実施し、健康宣言エントリー事業所数増を図る。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	143,000円
実施状況	今年度は外訪活動等により上期で年度目標の事業所数に到達した。次年度の宣言事業所数増に向け業務委託による文書勧奨及び電話勧奨を計画中。		

## 取組No. 3-9 エントリー事業所への健康情報誌配布事業

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…コラボヘルス事業経費

◆ 区分…コラボヘルス事業

実施内容	四半期ごとにエントリー事業所あて事業所カルテを始めとする健康の保持増進に役立つ情報を提供する。併せて市販の健康情報誌をエントリー事業所へ配布し、事業所内で回覧を行ってもらうことにより、健康情報の周知を図る。また、宣言数が想定より伸びているため、購入部数を増やす。		
実施時期	四半期ごと 計4回	予算額	486,750円
実施状況	7月605部 10月670部(見込み) 季節の健康情報誌を、健康宣言事業所へ配布。		

## 取組No. 3-10 健康づくり講座(外部委託)

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…コラボヘルス事業経費

◆ 区分…コラボヘルス事業

実施内容	事業所の会議室等で、専門スタッフによる健康づくりに関する講座(食生活改善/運動/メンタルヘルス/たばこ等)をオンライン形式等で実施する。		
実施時期	令和4年8月以降(講座開講12月)	予算額	3,326,400円
実施状況	10月に業者決定。健康づくり講座は12月から開始予定。講座回数は50回。		

## 取組No. 3-11 事業所に対する生活習慣病予防に向けた啓発事業

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…その他の経費

◆ 区分…その他の保健事業

実施内容	加入者に対する生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチ。糖尿病予防に資するリーフレット、ポスター等を事業所に送付し、回覧・掲示等を通じて従業員への周知を依頼する。		
実施時期	令和4年4月～令和5年3月	予算額	1,254,000円
実施状況	今年度は「喫煙と糖尿病」をテーマとした。支部でオリジナルのリーフレットポスターを作成するため、現在リーフレット作成業者募集中。12月中旬に約5,700社に発送予定。		

## 取組No. 3-12 山梨県民歯科保健の集いにおける周知広報（ブース出展）

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…その他の経費

◆ 区分…その他の保健事業

実施内容	協定を締結している山梨県歯科医師会主催のイベントに支部のブースを出展。健康測定や糖尿病セルフチェック、チラシ等の配布を実施し、健康への意識付けを行うもの。		
実施時期	令和4年11月（予定）	予算額	99,000円
実施状況	コロナ禍により11月のイベントについては開催中止。		

## 取組No. 3-13 糖尿病予備軍域者への運動勧奨

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…その他の経費

◆ 区分…その他の保健事業

実施内容	健診結果で糖尿病予備軍域者となった加入者に対し、運動に関するお知らせや冊子を送付し、運動勧奨を行うことで健康増進を図る。		
実施時期	令和4年4月～令和5年2月（年度内の偶数月に実施）	予算額	132,000円
実施状況	高血糖に関するリーフレット及び運動リーフレットを616人へ送付。内、アンケート42件回収。		

## 取組No. 3-14 適用事業所を通じた加入者への健康支援事業

◆ 予算区分…保健事業予算

◆ 分野…その他の経費

◆ 区分…その他の保健事業

実施内容	事業所の健康保険担当者等を対象に、健康増進・健康づくりに関する各種テーマ（食生活改善/運動/メンタルヘルス等）毎に複数事業所参加型のオンラインセミナー（ウェビナー形式）を実施※するとともに、未宣言事業所に対しては勧奨を行う。		
実施時期	令和4年8月頃から→変更	予算額	958,003円
実施状況	健康保険委員を対象に下期2回オンライン健康講座を配信予定。		



## 令和5年度戦略的保険者機能予算にかかる支部の課題について

課題①	<p>◎血糖リスク保有者並びに血圧リスク保有者が全国平均を上回るが、血糖、血圧リスクにかかる疾病(内分泌・栄養及び代謝疾患、循環器系の疾患)の1人当たり入院及び入院外医療費の地域差指数は平均を下回ることから、未治療のリスク保有者が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健診における血糖リスクでは、男性39位(25.6%)、女性46位(14.8%)とリスク保有率が高いのに対し、入院外医療費、受療率(国立保健医療科学院HPで公表しているH29患者調査)、及び服薬率(NDBオープンデータ)は全国平均より低い。</li><li>・健診における血圧リスクでは、男性44位(59.9%)、女性34位(39.1%)とリスク保有率が高いのに対し、入院外医療費、受療率(国立保健医療科学院HPで公表しているH29患者調査)、及び服薬率(NDBオープンデータ)は全国平均より低い。</li></ul>
課題②	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合工事業及び機械器具製造業の1人当たり医療費(入院・入院外)の地域差指数が大きい。併せて、生活習慣病リスク(血圧、脂質、代謝)保有者の割合が他業種と比較して高い。</li><li>・食料品・たばこ製造業製造業は代謝リスク保有者が多い。</li></ul>
課題③	<p>0～14歳までのジェネリック医薬品使用割合が全国と比較して低い。 (0～4歳 全国平均-3.8%,全国45位、5～9歳 全国平均-3.2%,全国44位、10～14歳 全国平均-5.6%,全国46位) ※上記はR4年度5月のデータ</p>

